IPAS

IPAS（知財アクセラレーションプログラム）

特許庁委託事業
IPAS2022 公募説明会 May. 19. 2022

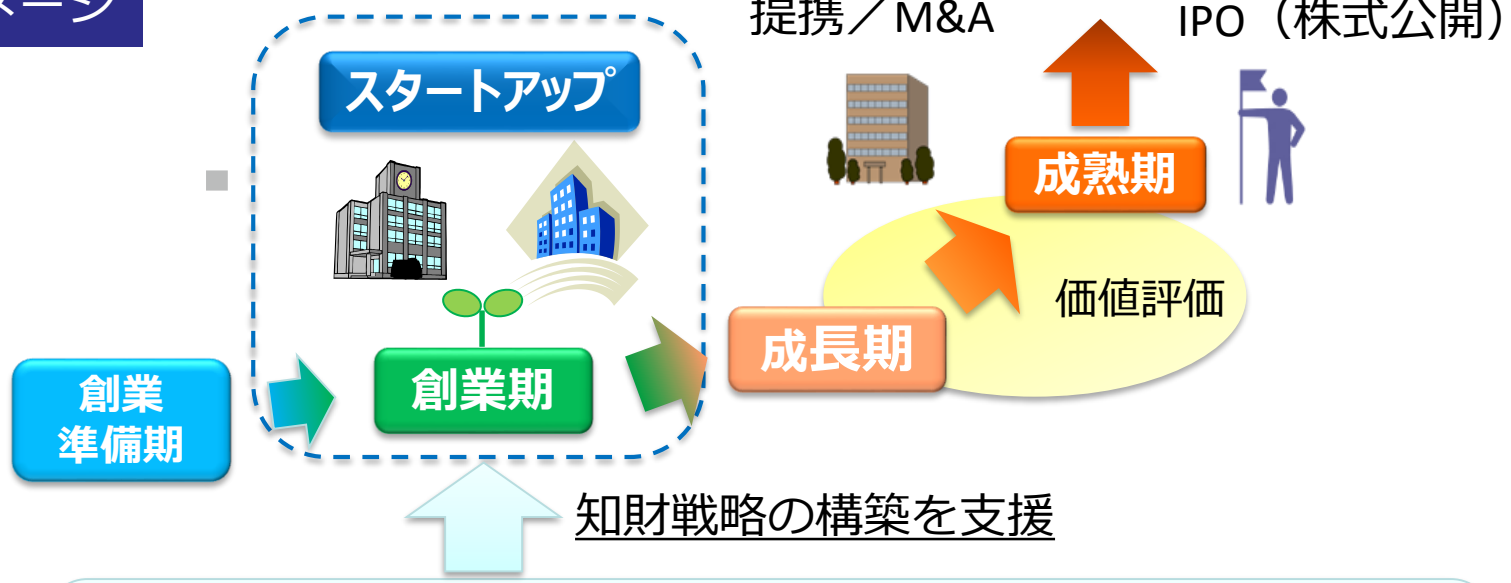
事務局（NTTデータ経営研究所）

IPAS事業とメンタリングの特徴

IPASの事業概要(本日の公募も含めた事業全体)

- ✓ ビジネス専門家と知財専門家からなる『知財メンタリングチーム』が、支援先スタートアップとメンタリングを行い、事業戦略に連動した知財戦略の構築を支援する。
- ✓ 5か月程度のメンタリングと、1日限定のスポットメンタリングのプログラムがあります。

支援イメージ



支援形態

今日の公募説明

メンタリング

- ✓ 5か月程度の期間、10回程度のメンタリング
- ✓ 募集は年度内、1回。

スポットメンタリング

- ✓ 1日限定のメンタリング
- ✓ 年間　6回実施予定　（別途、募集予定）

IPASはビジネスと知財の両方の専門家により支援する事業です

- ✓ IPASでは、知財戦略とビジネス戦略の**両方**を支援。知財戦略は、適切なビジネスモデルとの連動が不可欠です。
- ✓ 必ず、ビジネスメンター、知財メンター、アソシエイトメンターの3名をマッチングします。

メンタリングの主要参加者にはビジネス戦略に関わる社内担当者も含めてください。

[メンタリングチーム構成]

スタートアップ

ビジネスと知財の両面からメンタリング

ビジネスメンター
ビジネスモデル診断や事業戦略立案を助言
ベンチャーキャピタル経験者など

知財メンター
知財戦略立案を助言

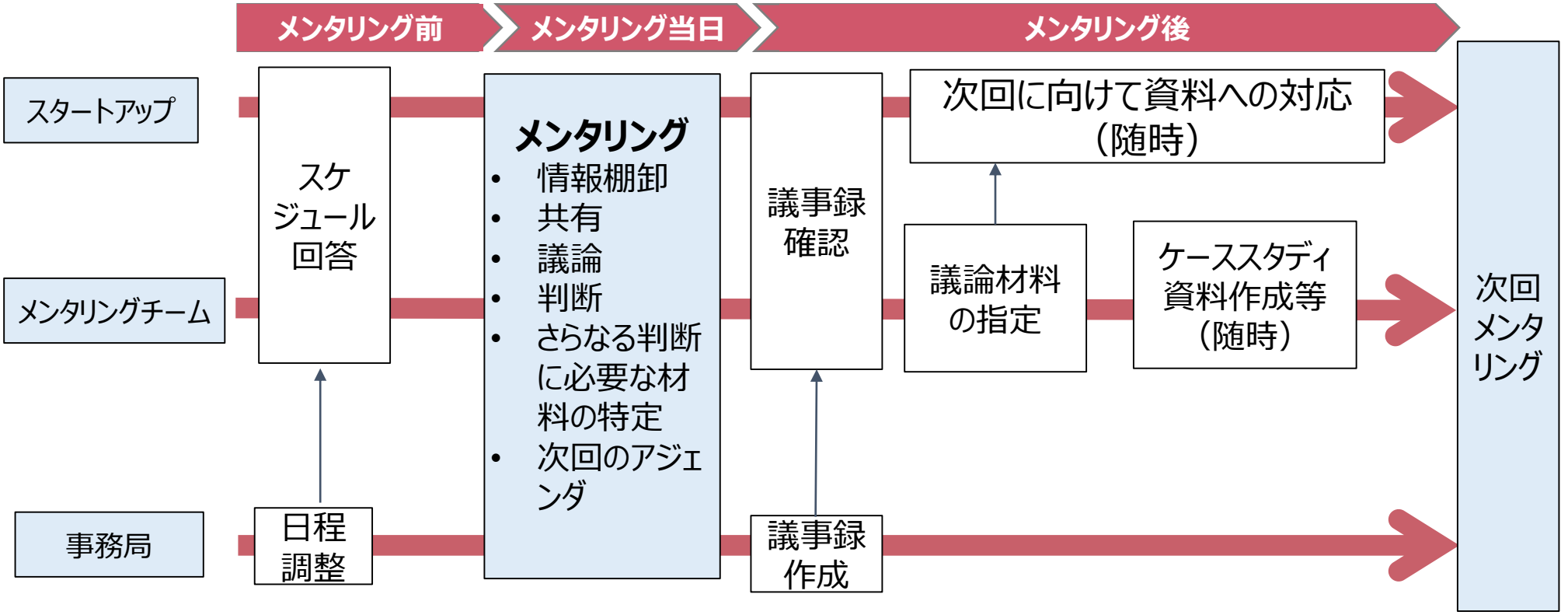
弁理士、弁護士など

アソシエイトメンター
スタートアップの課題に応じてチームを補強
（スタートアップが抱える課題によって専門性を選定）

＋事務局（日程調整、庶務等を担当）

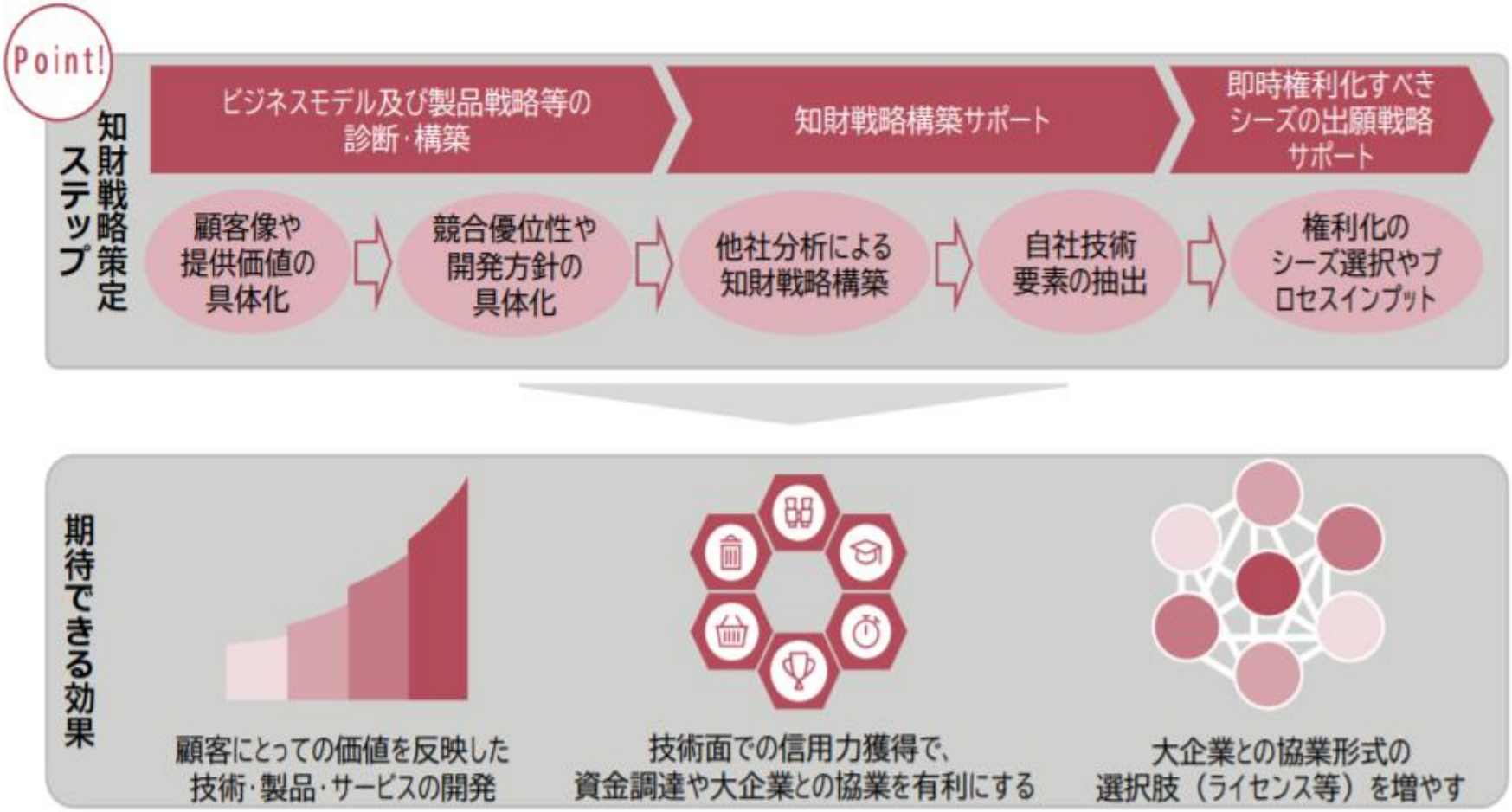
各回のメンタリングの進め方例

- ✓ スタートアップはメンターとの情報共有、議論への積極的な参加をお願いします。
- ✓ 議論や判断の材料とするために適宜資料の作成が必要になることを見込んでください。
- ✓ 日程調整や議事録作成は事務局にて実施します。



IPASでは、ビジネス診断、知財戦略の順での支援が一般的

- ✓ メンタリングの狙いは、研究開発と顧客価値創造の連動、技術面の信用強化、協業形式の選択肢の増加・契約条件の適性化などです。
- ✓ 多くの場合、ビジネスモデル等の診断・構築を行った後に知財戦略の構築をサポートします。



IPASのメンタリングの様子は事例集で確認を

- ✓ **IPASでは、メンタリングの様子を再現した事例集を発刊しています。**
- ✓ **実りのありメンタリングには、メンターとスタートアップの情報共有、戦略の議論が重要です。**

メンタリングの流れ、メンタリングの中でのメンター、スタートアップの役割や実施イメージ
を応募前にチェック！

[IPAS事例集のダウンロード方法]

IP BASE 内　IPASウェブサイト
https://ipbase.go.jp/support
/startupxip/

[メンタリングの進行例]

ビジネスモデル・製品戦略等の診断・構築 → 知財戦略構築 → 即時権利化すべきシーズの出願戦略サポート

[SU側からの情報提供例]

- 現在の事業計画（含む、出口戦略に対する自社の考え）
- 事業計画立案の根拠
- 自社と競合との比較
- 知財リスト（出願済、未出願ノウハウ、研究開発計画）
- ライセンス元などの重要な契約相手との契約書、タームシート
- メンターが提示したフレームに合わせた自社のビジョン

応募要領に関する説明

応募要領概要

- ✓ 募集対象：産業財産権(特許権等)取得の対象となり得る新規シーズを活用した製品・サービスを研究または開発しているスタートアップ＊他にも条件あり、後述
- ✓ 募集期間：2022年5月9日（月）から　2022年6月9日（木）
- ✓ メンタリング期間：メンタリング期間：2022年9月後半～2023年2月の5か月程度
- ✓ 採択社数：25社（昨年度より増加しました）

応募から結果通知までの流れ

①公募説明会
- 5月19日（木）（本日）

②応募所書類提出
- 6月9日（木）締め切り

③審査*・選定
- 8月上旬頃迄審査結果通知

*書類審査（一次審査）、面談審査（二次審査）、プレゼン審査（三次審査）を経て決定させていただきます。

応募方法

✓ IP BASEからダウンロードした応募フォームに必須事項を記入し、メールに添付*してお送りください。

宛先：ipas2022@nttdata-strategy.com

件名: [IPAS2021スタートアップ応募]＋貴社名（略称可）

応募締切：2022年6月9日（木）

*必須書類：応募フォーム（指定様式、エクセルファイル）

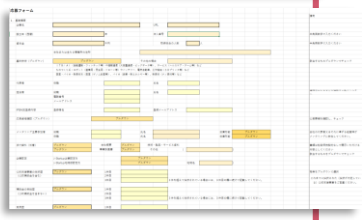
任意書類：補足資料（会社概要、事業計画、・サービス・製品・技術紹介資料等）

応募フォームのダウンロード方法（IP BASE内 IPASページ）

zip形式で下記3点のファイルがダウンロードできます

- 公募要領（pdf）

- 応募フォーム（xlsx）



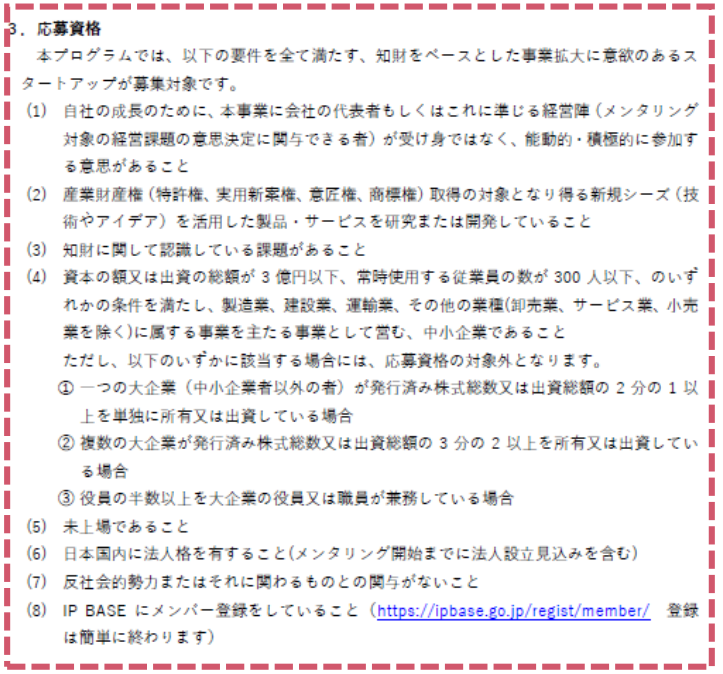
- 紹介パンフレット（pdf）

応募要件

✓ 応募に関して、(1)から(8) の要件があるため、公募要領の3ページを確認した上で応募をお願いいたします。

応募資格抜粋（公募要領3ページ）

(1) 本事業に会社の代表者もしくはこれに準じる経営陣が受け身ではなく、能動的・積極的に参加する意思があること
(2) 産業財産権取得の対象となり得る新規シーズを活用した製品・サービスを研究または開発していること
(3) 知財に関して認識している課題があること
(4) 資本の額又は出資の総額が3億円以下、常時使用する従業員の数が300人以下のいずれかの条件を満たし、製造業、建設業、運輸業、その他の業種に属する事業を主たる事業として営む、中小企業であること。以下のいずかに該当する場合には、応募資格の対象外となります。
① 一つの大企業（中小企業者以外の者）が発行済み株式総数又は出資総額の2分の1以上を単独に所有又は出資している場合
② 複数の大企業が発行済み株式総数又は出資総額の3分の2以上を所有又は出資している場合
③ 役員の半数以上を大企業の役員又は職員が兼務している場合
(5) 未上場であること
(6) 日本国内に法人格を有すること
(7) 反社会的勢力またはそれに関わるものとの関与がないこと
(8) IP BASE にメンバー登録をしていること



3．応募資格

本プログラムでは、以下の要件を全て満たす、知財をベースとした事業拡大に意欲のあるスタートアップが募集対象です。

(1) 自社の成長のために、本事業に会社の代表者もしくはこれに準じる経営陣（メンタリング対象の経営課題の意思決定に関与できる者）が受け身ではなく、能動的・積極的に参加する意思があること
(2) 産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権）取得の対象となり得る新規シーズ（技術やアイデア）を活用した製品・サービスを研究または開発していること
(3) 知財に関して認識している課題があること
(4) 資本の額又は出資の総額が 3 億円以下、常時使用する従業員の数が 300 人以下、のいずれかの条件を満たし、製造業、建設業、運輸業、その他の業種(卸売業、サービス業、小売業を除く)に属する事業を主たる事業として営む、中小企業であること
ただし、以下のいずかに該当する場合には、応募資格の対象外となります。
① 一つの大企業（中小企業者以外の者）が発行済み株式総数又は出資総額の 2 分の 1 以上を単独に所有又は出資している場合
② 複数の大企業が発行済み株式総数又は出資総額の 3 分の 2 以上を所有又は出資している場合
③ 役員の半数以上を大企業の役員又は職員が兼務している場合
(5) 未上場であること
(6) 日本国内に法人格を有すること(メンタリング開始までに法人設立見込みを含む)
(7) 反社会的勢力またはそれに関わるものとの関与がないこと
(8) IP BASE にメンバー登録をしていること（https://ipbase.go.jp/regist/member/ 登録は簡単に終わります）

4．応募期間及び採択社数

日時	2022 年 5 月 9 日（月） から 2022 年 6 月 9 日（木） まで ＊注
採択数	25 社（昨年度より増やしました）

毎年多数の応募があり、とても人気のあるプログラムです。メンタリングを終了した企業からはとても役立ったと多くの声が寄せられています。このため、昨年度は１５社から２０社に採択企業を増やしましたが、今年度は２０社から更に２５社に増やすことにしました。是非多くのスタートアップからの応募をお待ちしています。

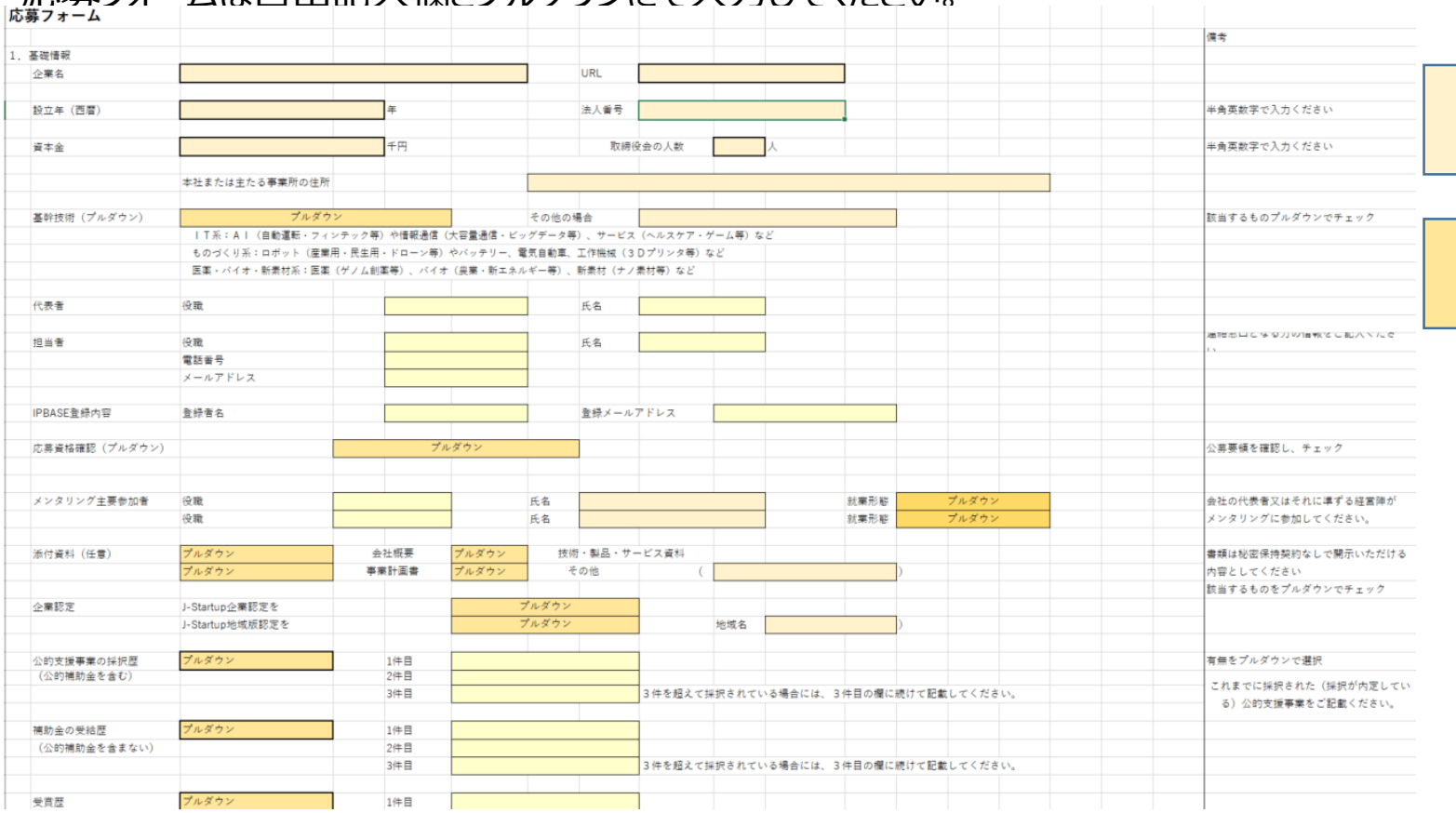
＊注 締め切り前にも、選考を開始する場合があります。

公募要領

応募フォーム①記入方法

- ✓ 応募フォーム（指定様式）は記入欄とプルダウンにて構成されています。
- ✓ 薄いベージュ色が記入欄、濃い目のベージュがプルダウンになっています。

応募フォームは自由記入欄とプルダウンにて入力してください。



記入欄

プルダウン

応募フォーム②記入内容

- ✓ 秘密保持契約なしに開示できる内容にて記載してください。
- ✓ 記載内容をもとに一次審査を行いますので、明瞭に記載してください。
- ✓ 追加したい内容があれば、添付資料等に記載して、任意資料として提出してください。

応募フォームの構成

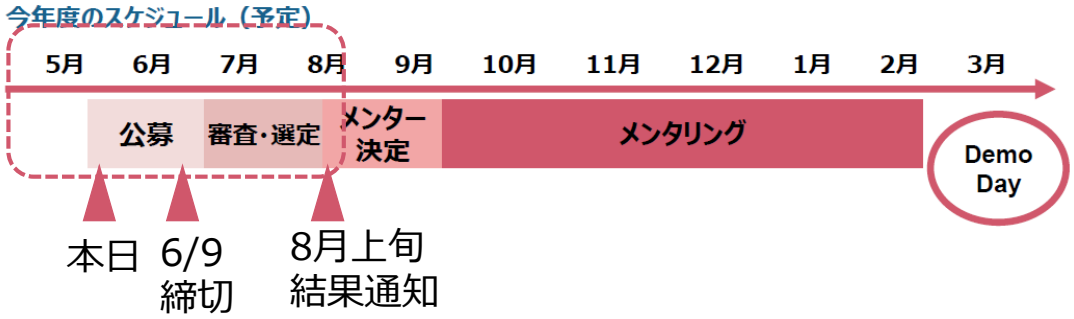
	内容	備考(特に注意して記載していただきたい点)
1	基礎情報	応募要件に合致していることなどをチェックしますのでもれなく記載してください。
2	知財（産業財産権）に関する情報	知財・ビジネスに関する専門家の支援を受けている場合は、プルダウン選択をし、内容がわかるように記入してください。
3	事業内容	会社の方針、技術、市場、技術の優位性、事業上の優位性、知財を創出しうる研究開発構想、出願予定・検討状況について記載してください。添付資料に関連資料がある場合は、右欄に添付資料の該当箇所を記載してください。
4	自社の課題、期待する支援内容・達成したいこと	①ビジネス面、②知財面、③応募理由を記載してください。
5	IPAS事業以外への情報提供	特許庁の他事業、各地域の経済産業局、INPIT*の事業での支援のために担当者への情報提供に同意する場合は、「同意する」を選んでください。
6	アンケート	今回の募集を知った媒体等を記載してください。

＊：独立行政法人 工業所有権情報・研修館の略称

審査スケジュール

- ✓ 審査ステップ（3段階）：書面（一次）⇒ 面談（二次） ⇒ プレゼン（三次）
- ✓ 審査結果：2022年8月上旬通知予定
- ✓ 出席者：面談審査とプレゼン審査ではそれぞれ指定がありますので、該当の方の出席をお願いいたします。

2022年度スケジュール（予定）



日程	審査ステップ	出席していただく方
2022年6月9日（木）	応募締切	-
-	一次審査（書類審査）	-
-	二次審査（面談審査）＊	代表者または準じる経営陣
-	三次審査（プレゼン審査）	必ず代表者
2022年8月上旬頃まで	審査結果通知＊	-

＊： 二次審査は、応募締め切りである6月9日以前に開始する場合があります。

応募に関する注意事項

メンタリング向けたの作業の遂行

✓ メンタリングでは必要に応じてメンターより宿題や情報の提供等が求められます。メンタリングを成功に導くため、メンタリングに向けた作業に時間を割くことができるかご検討ください。

[IPASに適さない例]

メンタリングチーム

ビジネスモデルを検討するため、〇〇の状況を整理して欲しい

メンタリングに必要な資料がなかなか出てこず、先に進むのが難しくなる

スタートアップ

時間が無く用意が出来ない
情報提供が難しい

知財/ビジネスに関する専門家のサポート内容

- ✓ 外部専門家（弁理士、弁護士、投資元の取締役派遣）支援の有無に関わらず応募可能です。
- ✓ ただし、受けているサポート内容がIPASのメンタリングへの支障とならないように応募に際して相談し、合意形成等を行ってください。

[良い例]

社外専門家等

事業にもアドバイスしているがIPASで集中的にメンタリングを受けることも良いと思う。応援します。

顧問とメンターの意見が違っても自身で最終判断します。聖域なしに議論したい

スタートアップ

積極的な議論

[IPASに適さない例]

社外専門家等

私がアドバイスしている領域は触れないでほしい。IPASに私の仕事を邪魔されたくない。

ターゲット市場は自分たちだけで十分に検討しました。経緯は非開示です。ビジネス戦略は十分なので紹介も議論しません。知財だけメンタリングしてください。

バッティングするから知財だけメンタリングしてもらおう。

スタートアップ

④技術的に競合する製品・サービスとそれに対する技術的な優位性

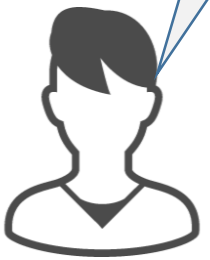
- ✓ どのように競合他社と競うのかを記載してください。
- ✓ なるべく自社だけが利用可能な知的財産（発明、デザイン、営業秘密等）による差別化戦略を中心に記載してください。
- ✓ 機密情報に関わる部分はボカシた記載でも結構です。

[良い例]

スタートアップ

当社は、＊＊＊＊を解決する技術を保有しています。既存技術と比べ＊＊の点で優れ、他社が開発中の技術とは＊＊＊の点で異なります。実現方法の詳細は非公開です。この技術は、当社だけが実行可能であり、＊＊＊を実現できます。

[審査に適さない開示]



スタートアップ

当社のターゲット市場は、大変魅力的で、年率＊%の成長が期待され、将来的には＊＊＊＊億円市場と言われています。当社は、いち早くこの市場に注目しました。

別の欄向けの記載を重複記載

⑥今後知財を創出しうる研究開発構想　⑦新たな特許出願等

- ✓ 知財戦略上、取り得るアクションの有無を確認します。
- ✓ 新たな出願、補正、外国出願、今後発明がなされそうな環境（研究開発、共同研究等を実施しているか）などを記載してください。

[良い例]

①現在、（企業名非開示）と共同研究の成果があり、出願の時期を相談中。
②未出願でノウハウとして管理している技術の出願の是非をメンタリングで議論したい。
③外国出願するかどの国に出願するか迷っている特許がある。

スタートアップ

[審査に適さない開示]

①特許は＊＊件持ってます。（今後の予定や、議題にしたいアクションの記載なし）
②ブランド戦略の構想をもっている。詳細未定（具体的なアクションや計画が不明瞭）

スタートアップ

自社の課題・期待する支援内容・達成したいこと

- ✓ 知財面、ビジネス面の両方を記載してください。
- ✓ ビジネス面の欄にむりやり知財の内容を記載しないでください。
- ✓ 極端に抽象的な記載は控えてください。

[審査に適さない記入]

例①：上記の特許に関するビジネス戦略全般（追加の説明なし）
例②：専任担当者がいないのですべての面で指導いただきたい。

スタートアップ

説明会以降のお問い合わせ

✓ 説明会以降のお問い合わせは、IPASウェブサイトに記載の以下の連絡先まで、**メール**または**電話**にて連絡してください。

お問い合わせ及び応募資料提出先
102-0093　東京都千代田区平河町2-7-9　JA共済ビル9階・10階
知財アクセラレーションプログラム（IPAS）事務局
（株式会社NTTデータ経営研究所　内）
担当：　櫻木、高井
ＴＥＬ：　03-6261-7453
メール：ipas2022@nttdata-strategy.com

←
IPASウェブサイト：https://ipbase.go.jp/support/startupxip/

IPAS

IPAS（知財アクセラレーションプログラム）

特許庁委託事業
IPAS2022 公募説明会 May. 19. 2022

事務局（NTTデータ経営研究所）